

## まちづくり専門部会の課題

- 少子高齢化への備えが求められている
  - ・担税力のある若者世代の転入を促進するため、魅力あるまちづくりが必要。
  - ・今後、さらに増える高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりが必要。
- 限られた財政状況の中で、将来を見据えたメリハリのある計画が求められている
  - ・今後、インパクトがある事業（鉄道立体化、地下鉄8号線等）が予定されている。
  - ・インフラ整備による将来的な問題を予測し、都市基盤の維持・保守の負担も考慮した計画や既存の計画の見直しが必要。
  - ・不要な歳出を見直すとともに、歳入につながる計画的なまちづくりが必要。
- 自然資源や環境対策などの強みを活かしたまちづくりが求められている
  - ・恵まれた川と緑を活かしたまちづくり。
  - ・川を活用した、リバーステーション（川の駅）や物資輸送機能の強化。
  - ・先駆的な環境対策（ごみ資源化）などの取組みをアピールすべき。
- コミュニティがあり、安心して住み続けられるまちづくりが求められている
  - ・集合住宅（ワンルーム）が増え、特に賃貸は自治会加入率が低い。
  - ・老朽家屋や無接道家屋への対策や密集地域の解消が必要。
  - ・障がい者などの災害弱者が逃げなくても良いよう、不燃化・耐震化が必要。
  - ・治安向上に向けた取組みの成果が出ているが、今後も引き続き取組みが必要。
- さまざまな課題に柔軟に対応できるルールや仕組みづくりが求められている
  - ・集合住宅の将来的なスラム化や、ワンルームマンションによる弊害などを防ぐための一定の規制が必要。
  - ・まちづくりに対応できる柔軟なルールや仕組みが必要。
- 民間活力の導入などによる、潜在的なポテンシャルを活かすまちづくりが求められている
  - ・今後、都営住宅建替えによる余剰地や学校跡地の活用が予想される。
  - ・エリアデザインなど、民間資本を活用し、優先順位や効率性を考えた開発が必要。
  - ・今後のまちづくりにおいては、地元への還元という視点が不可欠。
- 地域特性を活かした、人や企業を呼び込める魅力のあるまちづくりが求められている
  - ・地域ごとの特性を活かした、住む場所の選択肢があるまちづくり。
  - ・東西方向が弱い公共交通網の充実または補完が必要。
  - ・集客機能や文化・医療、企業誘致などの目的をもったまちづくりが必要。
- ハード・ソフトの両面からつくりあげた魅力や強みのPRが求められている
  - ・魅力あるまちづくりのためには、まずは安全・安心、子どもの教育環境が必要。
  - ・人や企業を呼び込むためには、魅力や強みを内外に発信することが必要。

## 区民あだちサロン及び中高生ワークショップの課題

- 【道路・交通】・区の中心部に公共交通のターミナル拠点が必要。
  - ・自転車で移動しやすいまちづくりが必要。
- 【災害対策】・災害対策の充実が必要。
- 【魅力づくり】・おしゃれなマンションや住宅街など、若い世代に魅力あるまちづくり。
  - ・昔ながらの商店街や景観が保たれている。

## 将来像と基本理念（案）

## 足立区の将来像（あるべき姿）

- 誰もが安心して安全に住み続けられるまち  
防災・防犯の両面で安全なまちづくりが進められてこそ、安心感が得られます。年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。
- 足立区の強みや特性を活かした魅力があるまち  
足立区の特徴である豊かな水と緑に加え、歴史や文化、農業等の伝統、各地域が持つ様々な機能や雰囲気について区民が理解し、それらを活かすことによって、住みたいと思える場所が見つかり、人が集まるまちを目指します。
- 将来を見据えた進化し続けるまち  
将来的な負担まで考慮し、住む人や地域への貢献や還元に重点をおいた、若者が定着し、次世代に残していけるまちを目指します。  
そのため、今ある地域資源やインフラ事業などを再評価するとともに、今後もさらに発展する可能性を活かし、区民や事業者、教育機関や行政などが連携・協働し、良い点を伸ばし悪い点を改善していきます。

## 将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

- **地域力**
  - ・事業者、行政、地域が持っている資源、あるいは歴史・伝統といった蓄積を基に、絆、住民同士のつながりの中にあるポテンシャルが活かされ、足立区に関わるあらゆる人の力によって、より「愛される」足立区にしていくようなまちづくりが重要です。
  - ・若者世代に選ばれる足立区に向けて、若者世代が主体的に関わっていけるようなしくみをつくり、住みよいまちを模索し、挑戦し続けることが必要です。
- **やさしいまちづくり**
  - ・誰にとっても魅力的で住みやすいまちづくりを進めていくためには、年齢・障がいの有無、国籍に関わらず、あらゆる人が普遍的に享受できる環境を整えていくことが重要です。

## 区民あだちサロン及び中高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 活気にあふれ、昔ながらの風景があるまち
- 緑が豊かでのんびりした安全なまち
- 若い人が移り住んでくるまち
- 安全で住みやすいまち
- 都市と緑の調和のとれた住みよいまち
- オシャレなまち
- みんなが安心して居心地よく住めるまち